

まず家庭の生活設計をしつかりと

青少年健全育成の具体策

十一月十八日、地域婦人指導者の研修会が律院で行なわれ、長など百四十人が参加して青少年健全育成のための具体策について研修を行なったもので、そのおもなものを紹介してみよう。

青少年の健全育成ということは国家的な問題であり、一日もゆるがせにできないものです。日光市におきましても、社会教育委員会や各種団体、福祉事務所など各関係機関が一丸となつて、これらの問題と真剣にとりくんでいますが、青少年の不良化防止は大きな社会問題となつています。

そこで、青少年不良化の原因は必ずしも留守家庭だけに限つたことではありません。そこには、家庭的な原因や環境的な原因があります。しかし、全国的な傾向として留守家庭が大きな原因となつているため、おもに留守家庭を中心にした青少年の健全育成という問題について、警察署の補導の実態や留守家庭の実態調査などを参考にしながら、五分科会に分かれて一日研修を行なったものです。



地域婦人指導者の研修会

ちなみに、とくに留守家庭が多い地域を対象に福祉事務所等で調査した実状を紹介してみますと、

- 今後も共かせぎを続けていくが八〇%
- これに対して、その児童生徒が親の共かせぎについて「止めなくてもよい」が七〇%
- 母親の帰宅時 午後五時以前 八八% 午後六時まで 一二%
- 共かせぎ家庭の経済状態

年収五十万〜七十万円の中堅層の家庭が圧倒的に多く八八%を占めている。(父の収入)

- 共かせぎの動機 子どもの教育費に三六・二% 生活のために一六・五% 余暇利用が三〇%
- 子どもに対する教育関心 九四%が高校以上の教育を与えている。

などとなつています。この中で、もつとも注目したいことは今後かなり多くの共かせぎが続けられるものと予想されることです。また、共かせぎ家庭の中で、低所得階層がひじょうに少なく、年収三十万円以下の世帯が一世帯しかなかったということも見逃がせないものがあります。しかし、子どもの愛情の

つなぎ方について、相当の配慮がはらわれているなど、よい社会づくりはよい人づくり、よい人づくりはよい家庭づくりからという点については、だれも異論のないようです。

もちろん、各学校においても綿密な家庭連絡を行ない、かなり具体的な対策がはらわれており、青少年の非行はきわめて少ない状況です。全国的な傾向として、社会機構の変化とともに母親の就労は、さげられない事実になりつつあり、また、働くということは尊いことで、けつして留守家庭が悪いというのではありません。留守家庭がゆえに、りつばな子どももいるわけで、いちがいにはいえきれないものがあります。しかし、一地

域の実態を把握して、その結果がよいから日光市全体もよいということはいきれません。

- これらの観点から、日光市全体をおして、働く人も、まわりの人も、地域ぐるみで、じぶんの子どもだけでなく他人の子どもも見守つていこうというこ
- 安全な遊び場を用意してやり
- よい家庭をつくらう。
- 子どもを理解してやろう。
- 純潔教育について反省してみる必要がある。
- 社会の子として、他人の子とも遠慮なく注意しよう。
- 教育隣組をつくつて、お互にもつと手をつなぎあおう。

○子ども会の活動組織をもつと自主的な強力なものにしたい

○指導者の育成に、もつと力を入れるべきだ。

これらのことが、ねずみの相談にならぬよう、だれかがやつてくれるだろう、などと他人ごとになり、一日も早く、これらの話しあいの効果が私たちの町の中に浸透し、今よりももつと明るい社会をつくりたいものです。

これから年末にかけて、あわただしい毎日が続きますが、年ごろのお子さんを持つていてご注意していただきたいと思

第18回成人式

服装の美より 心の美で出席しましょう

第18回成人式が1月15日に行なわれます。市教育委員会ではだれもが気軽に出席できるようにと服装の簡素化を呼びかけていますので、つきのことにご協力ください。

- ◆特別な服装はしないでください。
- ◆なるべく簡素な服装で出席してください。

(成人対象者)

昭和20年1月16日から21年1月15日までに生まれたもので市内在住者、住民登録者にかぎります。なお、成人者名簿は12月1日現在で住民登録簿から作りますので、住民登録をしていない方は早めにしてください。

(親や兄弟が日光に住んでいて成人該当者が東京などに下宿して修学している方も申し込みがあれば日光で成人式ができますから、そのような方は12月10日までに教育委員会社会教育係へ申し込みください)